

錦城に吹く新たな風



錦城高校新聞

437号

錦城高等学校新聞委員会
編集室 2023

立候補役職	名前	得票数
生徒会長	山田拓仁◎	1194
生徒会副会長	峯村苺花◎	692
	隈一晃	514
監査委員長	浦山一花◎	1219
監査副委員長	新井陽奈◎	602
	鍋島綾月	587
錦城祭実行委員長	中村侑月◎	1081
	有効投票数	1277

11月15日(水)6時間目に第一体育館にて、全体集会、生徒総会、生徒会選挙が行われた。詳細は次号本紙にて。

生徒会選挙 新メンバー決まる

- 一面：髪型についての校則改正
- 生徒会則の改正へ投票
- 二面：生徒会選挙が行われました
- 各立候補者が熱く語る

生徒会選挙の結果 (当選者には◎がついています)

生徒会選挙

11月15日(水)の6時間目に第一体育館で、生徒会選挙が行われた。

今回の選挙は7名の立候補者がいて、それぞれが自身の公約を示した。生徒会長と監査委員長、錦城祭実行委員長は信任投票で行われ、生徒会副会長と監査副委員長は2人ずつ立候補があったので、決選投票が行われた。

今回の投票では従来の紙での投票のほかに、1・2年生が持っているタブレットを用いた投票も実験的に行われた。紙での投票の回収に使われた投票箱は小平市役所から借りたものだ。

全投票数は1295票で、有効投票数は1277票。無効投票数は18票と、選挙管理委員会の再三の呼びかけにも関わらず、無効票は0とはならなかった。(各立候補者の演説は裏面にて特集) (紫)

生徒総会 生徒会会則改正投票



生徒会則改正について語る高梨さん

今回は生徒会選挙立会演説会の前に、生徒総会が行われた。始めに監査委員長の加園玲也さん(3K)から、錦城祭の決算報告が行われた。元々の準備金70万円、実際の売上金は63万円と赤字収支となったため、ユニセフへの寄付は実施しない。加園さんは決算報告に加えて、先生方のマナーについて問題提起し、改めて先生方と錦城生が協力する必要性を語った。生徒会長の高梨恭一さん(3D)からは、生徒会会則及び細則の改正についての説明があった。24項目の改正項目があったため、項目ごとの改正理由の説明は省略された。会則改正については、教室に戻った後に1・2年生はclassroomで3年生は紙での投票が行われた。この改正の結果は後日生徒会から報告される。最後に1年間の活動に協力した錦城生に向けて感謝を語った。

今回の改正案について説明が充分であったのか生徒からは疑問の声が上がっているため、検証してみたい。(蘭)



「素を大切に」

この改正は全校集会当日から施行されるが、詳しい内容は近日発行される生徒会報で発表される予定だ。

髪型校則規定改正へ

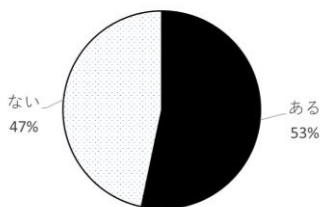
全校集会では、校長先生から髪型規定に関する校則改正についてのお話があった。ジエングーレスの考え方を踏まえ、男女間での髪型の校則を統一するとのことだ。

他校の校則や保護者の方々の意見も参考にし、素を大切にするという原則のもと改正を決定したという。さらにこの校則改正は、決して髪型に関するルールを撤廃するというわけではありません」と加えた。

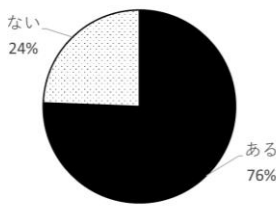
お宅びと訂正

436号「錦城生スマホ実態アンケート」掲載のグラフに誤りがありました。「ある」「なし」の数値が逆でした。深くお詫び申し上げますと共に、左のグラフの通りに訂正いたします。

「あなたは校内でスマホを使用したことがありますか？」



「校舎内でのスマホ利用を見たことがありますか？」



熱い想いが未来を切り開く

2023 年度生徒会選挙演説



生徒会への熱意を錦城生に演説で伝える

11月15日(水)の六時間目に、全校生徒が体育館に集まり生徒会選挙が行われた。今年度は7人が立候補し、壇上で自分の公約と錦城に対する想いを熱弁した。

短い制限時間と極限の緊張の中、勇気をもって目の前で話してくれた立候補者たちの健闘を称え、生徒会活動を盛り上げていこう。

生徒会長候補 山田拓仁さん(2K)

生徒会会長候補、山田拓仁さん(2K)は演説で、二つの公約を挙げた。一つ目は、今問題になっている錦城生の風紀を正していくことだ。中央委

員会が各クラスのホームルーム委員と協力し、錦城生の日々の学校生活の様子を把握することで風紀の改善を目指していきたいという。

二つ目は校則の改定を進めることだ。前期では改定の申請書が通らなかつたため校則改正が実現できなかったそう。後期では申請書を学校が納得いく形で提出できるように努めていくそう。

生徒会副会長候補 隈一晃さん(1H)

生徒会副会長に立候補した隈一晃さん(1H)はスマート

なランチタイム、楽しいドリントタイムとようこそ先輩講演会を公約に掲げた。

隈さんは「食堂に行つたときに並んでいなかったら嬉しいですよ」と呼び掛ける。その後「自動販売機を見たら自分の好きな飲み物が入つていたり、進路選択に迷つたときに錦城を卒業した先輩がお話してくれたらすると嬉しいですよ」と語り、自身が掲げた公約の説明を行った。

生徒会副会長候補 峯村莓花さん(1D)

生徒会副会長に立候補した峯村莓花さん(1D)の演説は、ひととき大きな声での挨拶から始まった。峯村さんは立候補した理由を「学校生活の中で変えたいと思ったこと、不満に思っていることを自らの手で改善したいと思ったから」と話す。

した学校生活を送れるような取り組みを必ず実現します」と力強く語りかけた。

応援演説の上田碧唯さん(1J)は「彼女はとても真面目でいい子です」と峯村さんの長所を伝える演説で投票を呼びかけ、演説を締めつけた。

監査委員長候補 浦山一花さん(2E)

監査委員長に立候補した浦山一花さん(2E)は公約として新入生に校則を直接教える機会を設けることをあげた。この公約をあげた理由として、現在問題になっている錦城生のマナーは校則が周知されていないことが原因になっていると感じているからだという。錦城生に向けて「決められたルールの中で青春を謳歌し、節度のある行動を心がけていきましょう」と錦城生に訴えかけた。

監査副委員長候補 鍋島綾月さん(1K)

監査副委員長に立候補した鍋島綾月さん(1K)は女子トイレに生理用品を常備すること、リサイクルを行い、それを還元することの2つを公約に掲げた。

また、応援演説の橋本さんは、「新井さんはリーダーとなるだけでなく、俯瞰して周りの意見を取り入れる」存在だと述べる。小さなミスや些細な変化にも気づき、フォローを入れてくれるという新井さんの魅力を伝え、「清き一票をお願いいたします」と演説を締めつけた。

錦城祭実行委員長候補 中村俐月さん(1J)

錦城祭実行委員長に立候補した中村俐月さん(1J)は錦城祭を文化的で、よりよいものにしていくことを公約に掲げた。文化的なものにしていくために過去の伝統を受け継ぎ、未来の後輩に伝えていきたいと語り、ただ受け継ぐだけでなく、悪いものはよりよく変えていき、よいものはそのまま受け継いでいくことを約束した。具体的に公約を達成するために、今年から再開され、不便なことが多かった飲食企画の改善と、来場者全員に投票してもらうことができなかったクラス企画投票を見直すことを挙げた。「ご協力をお願いします」と話し、演説を締めくくった。

峯村さんは事前に掲げた2つに加えて「classiやクラスルームを活用した取り組み」を公約として掲げた上でそれぞれのメリットを挙げ「これらの公約を絶対に実現したいと思っています」と自らの思いを全校生徒に伝えた。「生徒の皆さんがより充実

した学校生活を送れるような取り組みを必ず実現します」と力強く語りかけた。

応援演説の上田碧唯さん(1J)は「彼女はとても真面目でいい子です」と峯村さんの長所を伝える演説で投票を呼びかけ、演説を締めつけた。

監査副委員長候補 新井陽奈さん(1D)

監査副委員長に立候補した新井陽奈さん(1D)の演説は、応援演説者の橋本明季さん(1D)との揃ったお辞儀から始まった。初めに新井さん

1つ目の公約を掲げた理由は、女子が抱える小さな不安を取り除くためだそう。2つ目は最近SDGsを考慮することが多くなってきたが、改めて身近なことから行動し、それを目に見える形で還元したいと考えたそう。具体的な還元例としては、多く参加したクラスに食堂の割引券を配ったり、生理用品の購入資金に充てるという。

錦城生に向けて「生徒の意見をもれなく拾っていきませ」と呼びかけた。

鍋島さんの応援演説を務めたのは猿渡双葉さん(1L)。鍋島さんとは長い付き合いだとい、中学でのボランティアでの体験を生かしてくれるだろうと会場の錦城生に向けて鍋島さんの魅力を伝えた。